

小学部



節分 ～みんなに福がきますように～

幼稚部



おわかれ会 ～ゆり組のみんな、ありがとう!～

高等部



弁論大会 ～言葉に思いを込めて～

中学部



昼休みオンライン交流 (宮城県立聴覚支援学校)

無花果

No.191

令和5年3月9日発行
発行 秋田県立聴覚支援学校
秋田市南ヶ丘一丁目1番1号

無花果の実のように

教頭 福士 智子



ルを読むことで、「カタカナ」を覚えたものです。この学校に赴任し、廊下に掲示されている聴覚支援学校の歴史、そしてこの校報のタイトルから私の幼少期の記憶が蘇ってきました。この歴史ある学校の創立一一〇周年に立ち会えたことに感謝しております。

卒業生はもちろん、かつて勤務されていた先生方から創立一一〇周年記念式典に向けて、たくさんのお祝いの言葉などを頂戴いたしました。この場をお借りしてお礼申し上げます。そして、コロナ禍のため、やむなく入場制限などの措置をとりましたが、「みんなと学校で会いたかった」、「話をしたかった」、「あの先生は今どうしていますか」などの声もたくさん寄せられました。学習発表会でタイムカプセル開封・封印式を行いました。それを手にしたときのうれしそうな顔、劇団「風」による「ヘレン・ケラー」の記念演劇鑑賞、創立一一〇周年記念式典の「サチアレ」の歌に合わせたアトラクションが心に大きく残っています。「学校」で学べる時期は人生において本当に短いですが、そこで関わった人と人とのつながり、思い出や体験はとてつもなく大きく、人生の中でいつまでも輝き続けるものであることをこの創立一一〇周年を通して感じたことでした。

創立一一〇周年記念事業に加え、ICT公開研究会もあり、怒濤のように過ぎた一年でしたが、今、芽吹きの春が近づいてきました。卒業・修了を迎えられるみなさん、保護者のみなさま、おめでとうございます。無花果の実のようになくさんの花を咲かせ、素敵な実を結びますことを心から願っております。そして聴覚支援学校関係者の皆様にたくさんの方の幸(サチ)がありますように。

祝卒業・修了

幼稚部

ずっと応援しよう！
幼稚部より組担任 菅原 明子 研



みんな友達 ずっと友達

あつという間の幼稚部での三年間。入学当初は、たくさん泣いていたみなさんも「友達や先生に自分から挨拶をする」「友達と相談、協力して遊ぶ」「年下の友達を誘って遊ぶ」すてきなお兄さんお姉さんになりましたね。
四月からは一年生。いっぱい勉強して、いっぱい遊んで、学校生活を楽しくください。幼稚部の友達や思い出をいつまでも大切に。

中学部

Never Give Up!
新たなステージに向かって
中学部三年担任 会場 一幸



気持ちを込めて

四月に転入してきて、新しい学校、そして寄宿舎での生活に不安でいっぱいだったことと思います。今では学校や寄宿舎の生活にも慣れ、中学部の後輩たちからも頼られる先輩になったこと、とてもうれしく思います。
◇藤田 泰輝
「学級目標「Never Give Up」の気持ちを胸に、新たなステージに向かって進んでください。」
中三からこの学校に転校してきて不安がありました。みなさんのおかげで安心して学校生活を送ることができました。

高等部

二人の巣立ちにサチアレ！
高等部三年組担任 赤平 成美

創立一〇周年記念式典のアトラクションで「会場にいるすべての人に、サチアレ！」と声を合わせる姿が印象的だった佐々木さんと藤原さん。二人にとって、高等部はどんな三年間でしたか。特に、最終学年は、己と真剣に向き合う時間になったのではないのでしょうか。今後も自分との対話を続け、自ら未来を創り出していくことを願っています。

◇佐々木 岳志
委員会活動や学校行事などを通して、様々な人と協力することの大切さを学びました。卒業後も忘れずに、己を磨いていきます。
◇藤原 心華
記念式典でアトラクションを成功させたことは忘れられない思い出となりました。仲間とともに過ごした時間は、かけがえのない宝物です。

◇長門 里紗
友達と学んだり、笑い合ったりして充実した学校生活を送ることができ、これからの人生にとって大切な宝物になりました。

た言葉
です。
それが困難にぶつかりながらも、仲間と励まし合



これぞ青春♡

◇畠山 陽稀
コロナ禍で活動が制限された中でも、修学旅行など学部のみんなど楽しく過ごすことができました。

高等部専攻科

一意専心

専攻科二年担任 上山 剛

本校で久しぶりの専攻科生として二年間頑張りました。職場実習では、自分の課題克服に向け、地道に努力を重ねました。自動車免許、フォークリフト運転技能講習修了など、進路実現に向けて資格取得もできました。誠実で働ける荒川さんは、会社の大きな戦力として活躍していくと思います。修了おめでとうございます。

◇荒川 太陽

専攻科では、じっくりと自分の進路について考え、集中して頑張りました。五年間ありがとうございました。



ありがとうございました

学部の学習・行事コーナー

幼稚園部

「おにはそとーふくはうちー！」

高橋 瞳

「心の鬼を退治するぞーえいえいおー！」子どもたちの元気な掛け声で豆まきが始まりました。「いじわる鬼」や「やさいきらい鬼」など、自分で描いた心の鬼の絵に向かって豆まきをしていると、大きな太鼓の音とともに赤鬼と青鬼が現れました。「鬼に豆を『えいっ！』って投げるよ！」と張り切っていたあの勢いはどこへやら：すっかり泣き顔の子どもたち。それでも果敢に豆を投げ、最後は全員で力を合わせて「おにはそとーふくはうちー！」赤鬼も青鬼もみんなの心の鬼も、無事退治することができました。



小学部

寒さに負けない！そり遊び

山谷 裕太

一月二十四日、まんたらめ体験・宿泊学習の一環として、太平山スキー場オーパスに行ってきました。今年度初めてのそり遊びということで、子どもたちは大喜び。雪もたくさん降っていましたが、寒さに負けず自分でそりを持って坂を何回も登りました。約一時間の短い時間でしたが、滑り終わった後の子どもたちの顔は満足感で満ちあふれていました。子どもたちからは「また来たいね。」と「楽しかった。」という感想を聞くことができました。子どもたちにとっても、とても貴重な経験になりました。



中学部

中学部体験発表会

中野 あかね

十二月十六日（金）に体験発表会が行われました。生徒たちは職場体験を通して、経験したことや考えたことを聞き手に分かりやすく伝えるために、資料の準備や発表練習を重ねてきました。発表当日は、緊張もありましたが、お互いの発表を聞いて質疑応答も積極的にを行い、学習の成果を発揮できた発表会になりました。この体験発表会で学んだ力を今後、行事や学習活動の場で生かしてほしいと思います。



高等部

きらり交流

鷲谷 和

今年度の秋田きらり支援学校との交流では、両校の生徒が合同チームを作り、七月のかがやきの丘祭りを実施した「スコアアタック」の交流戦を行いました。チーム内で投げる順番を相談して決めたり、応援し合ったりして、生徒同士が関わる場面が多く見られました。また、秋田きらり支援学校の生徒がスロープを使う際には、本校生徒が支えたり、ボールと一緒に持ったりして活動することができました。交流戦は、同点で引き分けになるなど、多くの試合で接戦になり、大変盛り上がりました。



寄宿舎から

秋田大学手話サークルとの交流

五十嵐 千穂

秋田大学手話サークルとの交流を三年振りに対面で行いました。事前にサークルの方と寄宿舎役員が内容を検討し、「フリースロー大会」と「ポーズ合わせゲーム」に決定しました。当日は、大学生十一名と寄宿舎生八名が和やかに自己紹介し合った後、ゲームを行いました。最初はお互いに緊張気味でしたが、ゲームの結果に一喜一憂し、身振りや手話でお互いの気持ちを伝えあって笑顔が溢れていました。同年代の人と気持ちをや取りする交流を生徒達はとても楽しみにしています。引き続き重ねていきたいと思えます。



ポーズ合わせゲーム
お題は「医者」



フリースロー大会

乳幼児・幼児教育相談について

乳幼児・幼児教育相談担当

藤盛 直子

今年度は、〇〇二歳児の乳幼児教室に十四名、三〜五歳児の幼児教育相談に十一名のお子さんご家族が全県各地から定期的に来校しています。乳幼児教室では、難聴児のご家族の出会いの場として、月一回土曜日に「合同保育」を行っており、親子でのふれあい遊びや制作活動、クリスマス会等で楽しい時間を過ごすことができました。



サンタさん、また来てね。



絵本と一緒に「ぴよーん」!



久しぶりの活動

中川 裕子

十二月のPTA活動は、ベルマーク仕分け作業と新聞紙のエコバッグ作りを行いました。新聞紙のエコバッグは、いろいろと活用できそうなので、家でも娘と一緒に何枚か作りました。コロナ禍でなかなか活動に参加できずにいましたが、先生方や保護者の方々と久しぶりに集まってお話しでき、楽しい時間を過ごすことができました。今後も様々なPTA活動に参加していきたいと思えます。



エコバッグ作り



ベルマーク仕分け作業

ニュース・トピックス

◎令和四年度 学校賞
文化賞 高等部三年 畠山 陽稀

寄贈のご紹介

○秋田県難聴者・中途失聴者協会様より
「耳マーク」カード 二十枚
○秋田東ロータリークラブ様より
音声ミキサー
ワイヤレスヘッドセット等、八点
お心遣いに感謝申し上げます。

卒業生・修了生一覧

- 【幼稚部修了】 清水 惟愛、菅原 新汰、武内 朝陽、藤田 泰輝
- 【中学部卒業】 佐々木 岳志、藤原 心華、秦 結里、長門 陽稀、畠山 陽
- 【高等部卒業】 佐々木 岳志、藤原 心華、秦 結里、長門 陽稀、畠山 陽
- 【高等部専攻科修了】 荒川 太陽
- 【産業技術科】 荒川 太陽
- 情報デザイン科

編集後記

旅立ちの春、卒業・修了おめでとうございます。それぞれの新しい世界での活躍を心からお祈りいたします。